

「マルチステークホルダー方針」

当社は、「知・時空間情報の創造により人びとの生活に貢献します」を企業理念として掲げ、創業以来、地図業界のリーディングカンパニーとして、情報の提供を通じて社会に新しい価値を提供するとともに、地域社会の発展に寄与し、環境保全活動にも積極的に取り組むなど、その社会的責任を果たすべく努めてまいりました。

今後も、株主、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値共創が重要であり、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。

その上で、価値共創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、企業価値の向上並びに持続的な成長を目指し、中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025」を策定し推進しています。この目標達成のためには、ビジネスモデルの確立とともに、環境変化に対応できる人財の創出と組織の構築による経営基盤の強化が重要であると考えております。これらを踏まえ、「外部環境変化に常に対応できる「知恵」を有する人財を継続的に創出するための人財開発」を人財戦略の柱として掲げ、積極的な人財投資により生産性向上と付加価値の最大化を図っております。

その上で、生み出した収益・成果に基づいて、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げや賞与支給による従業員への持続的な還元を実施するとともに、給与等以外の総合的な処遇改善により、従業員のエンゲージメントや更なる生産性の向上を目指します。

(個別項目)

具体的には、昨今の物価変動等を踏まえ、2023年4月に基本給のベースアップを実施しました。人財投資についても、教育・研修機会の提供・拡充に加え、女性活躍推進やシニア世代の活躍機会の拡大などダイバーシティの推進により、従業員のスキル向上やキャリア開発を図ることで、多様な人財が活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2023年4月21日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28522-07-00-fukuoka.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組（任意記載）

当社は、今後も企業理念に則った事業活動を通じて、全てのステークホルダーの期待と信頼に応えて社会課題の解決に取り組み、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2023年4月28日

株式会社ゼンリン

法人名

代表取締役社長 高山 善司

役職・氏名（代表権を有する者）